

授業科目名 (講義題目)	研究開発マネジメント		開講学期 単位数	夏季集中 2単位
担当教員	西尾 好司	講義コード	科目区分 対象学生	選択 1・2年生
		18176020		
開講予定日	第1～4回8月18日(土)、第5回～8回8月19日(日) 第9～12回8月25日(土)、第13～15回8月26日(日)			
履修条件	特になし	キーワード	研究開発戦略、コア技術 オープンイノベーション、共創 顧客・ユーザー	
全体の教育 目標	研究開発マネジメントに関する基本的 な事項を理解する	個別の学習 目標	マネジメント方法、顧客やユー ザーとの関係、社外資源の活用 を事例と共に理解	

授業の概要

本講義では、研究開発活動のマネジメントに関する基本事項を講義する。研究開発活動は、企業における利益の源泉となる最も重要な活動の1つである。企業においてイノベーション活動は決して研究開発部門だけの業務ではなく、研究開発や製品開発部門に所属する/しないに関わらず、全社的な活動にしていかなければならない。また、顧客・ユーザー・消費者との関係性の変革も求められる。しかも、サービス業が製造業と連携し、しかも主導的な立場を担うことも増え、研究開発活動に関する基本的な知識は決して製造業に限定されるものではない。

本講義では、以下の点を中心に研究開発の基本的な事項を理解し、戦略策定や実践に活用できるようにしたい。

1. 企業における研究開発活動及びマネジメントの必要性
2. 研究開発活動と経営戦略・事業戦略、様々な社内資源との関係性
3. 顧客のニーズや顧客との共創の必要性と限界、成果が活用される現場の理解
4. 他社、大学などの外部資源の積極的な活用の重要性（政策の活用も含む）

授業の進め方

基本的に2回の講義を1つの単位として講義のテーマを設定する。講義の中で取り上げる事例は、大企業だけでなく、中小企業やベンチャー企業も取り上げていく。

教科書および 参考図書

特定の教科書は使用せず、講義時に配布する資料を使用する。参考図書は以下の通りである。
Tidd and Bessant (2013) *Managing Innovation: Integrating Technological, Market and Organizational Change*, Fifth Edition, Wiley
バーゲルマン等 (2004) 「技術とイノベーションの戦略的マネジメント」(上下) 翔泳社
なお、復習用に有用な書籍・論文については講義時に紹介、または配布する。

試験・成績評 価の方法等

授業への参画状況とレポートの提出(1回)で評価する。集中講義のため試験は実施しない。出席日数は所定の基準をクリアすることを前提とする。